

市町村名	南大東村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	健康診査専門スタッフ渡航費用支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(3)-ウ	
担当部署名	福祉民生課		事業実施 (予定)年度	平成24～令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	離島・へき地医療、救急医療提供 体制の確保・充実 Ⅲ-4-(2)	
事業内容	住民検診が安定的に実施できる環境整備を整えるため、特定健診等で派遣される専門の医師、保健師、看護師、検査技師等の来島渡航費用を支援する。又、検診等に使用する胸部レントゲンを2年に1度、南大東村診療所より保守管理料の1/2を使用料として折半する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	509	509	510	536	696
		(b)予算現額	654	536	536	815	696
		(c)増減額(b-a)	145	27	26	279	0
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	654	536	536	815	696
	B.執行済額		654	536	536	815	832
	うち交付金充当額		523	428	428	652	665
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	119.6%
予算の状況の説明		検診のための検査技師等スタッフ来島渡航費の委託料は、合計 832千円(検査技師渡航費 636千円及び胸部レントゲン 196千円)を実施した。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	検査技師等スタッフ来島渡航費の支援	目 標	(支援の実施)	(支援の実施)	(支援の実施)	(支援の実施)	
		実 績	支援の実施	支援の実施	支援の実施	支援の実施	
		目 標					
		実 績					
達成 状況 説明	・各種がん検診実施のための、検査技師等スタッフの派遣により、継続して実施できた。 ・南大東へ移送するスケジュール等の確保が困難のため、胸部レントゲン車の海上移送はできなかったが、県立南部医療センター・子ども医療センタ附属南大東診療所の協力により胸部X線の撮影を島内の診療所で実施できた。 ・住民の健康管理及び疾病等の早期な治療予防が図れた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値	R3年度	R4年度	R5年度	目標値 (R6年度)
	集団検診受診率の増(33.3%以上)	目 標	325人	340人	342人	323人	38.0%
		実 績		342人(34.9%)	315人(34.9%)	269人(28.2%)	
	【参考指標】 胸部レントゲン撮影者数	目 標		253人	218人	199人	
		実 績		221人(52.5%)	196人(49.5%)	179人(44.9%)	
	進 捗 状 況 説 明	令和5年度も引き続き集団検診を継続して実施することができた。成果目標である受診率は昨年度と比較して6.7ポイント下落し、目標値の33.3%を下回り28.2%となった。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	成果目標である受診率（34%以上）を達成出来なかった理由としては、受診対象者個人による時期的な要因と又、受診検診日に受診ができなかった場合は島外にて人間ドックを受診している場合が要因と考えられる。	例年、集団検診の対象者には毎年、本村で受診が行える旨を、広報誌や防災行政無線等をととして、場所と日程を通知し、可能な限り島内に受診を行うよう早い段階から周知し促していく。
今後の取り組み方針		
・本村には集団検診を受診する医療機関が未整備であるため、今後も例年どおり、集団検診と胸部レントゲン検診の受診を実施することで、住民のがん等の早期発見、早期治療を推奨させるため、検診における検査技師等の専門スタッフの渡航費用を支援していく。又、集団検診受診及び胸部レントゲン受診の受診率向上も図りながら住民の健康増進にも引き続きつけていき、住民1人1人の健康管理に伴う住民検診等の必要性を防災行政無線及び広報誌等で周知していく。 ・比較的受診率が低いと思われる若い世代（20代～30代）への対象者にも職場等を中心に広報等にて住民検診の必要性を促し、協力を求め受診率の向上にも努めていく。		

資金の流れ														
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>832</td><td>832</td><td>665</td><td>167</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	832	832	665	167	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
832	832	665	167	0										
南大東村 832千円 委託料 636千円 使用料 196千円 （一財）沖縄県健康づくり財団 委託料 636千円 沖縄県立南部医療センター・こども医療センター 使用料 196千円 ○ 検診スタッフの渡航費 ○ 胸部レントゲン保守管理手数料														
資金の流	評価	点検項目	評価に関する説明											
使途の流	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先は随意契約で選定しており沖縄県で唯一離島住民の健康診査業務を担っている一般財団法人であるため妥当であると考えている。 ○予算規模内容及び費用・目的は事業に見合った内容であり、事業目的に必要な不可欠な経費である。 ○費用・使途が事業目的に即し、検査時に書類等で確認しており、真に必要なものに限定されている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費用・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	南大東村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	専門病院受診渡航費用助成事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-2-(3)-ウ		
担当部署名	福祉民生課	事業実施(予定)年度	平成25～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	離島・へき地医療、救急医療提供体制の確保・充実		
事業内容	村内の医療機関では対応できない専門的な治療等を継続して受けられるようにするため、沖縄本島での治療、検査等にかかる渡航費を支援する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	6,573	5,969	5,969	4,829	5,782
		(b)予算現額	2,633	2,628	2,717	3,482	5,782
		(c)増減額(b-a)	▲3,940	▲3,341	▲3,252	▲1,347	0
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	2,633	2,628	2,717	3,482	5,782
	B.執行済額		2,633	2,628	2,717	3,142	3,704
	うち交付金充当額		2,106	2,102	2,173	2,513	2,962
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	90.2%	64.1%
予算の状況の説明		当初予算では令和4年度の実績額よりコロナ禍の影響も緩和されることを想定し、予算現額3,482千円から2,300千円増額した(5,782千円)を計上したが、依然コロナ感染症対策等の影響により対象者が抑制され、実績額は対前年度比▲2,078千円の事業費減額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	専門病院受診渡航費助成の実施	目標	(助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	(助成の実施)	
		実績	助成の実施	助成の実施	助成の実施	助成の実施	
		目標	()	()	()	()	
実績							
達成状況説明	制度対象者へは、診療所または申請窓口において、直接案内できた。H27～H30年度までは概ね300件余から400件余の実績であったが、令和元年度から令和3年度は新型コロナウイルス感染症対策等に伴い島外への渡航自粛等も重なり大幅に120件から130件余と減少した。令和4年度からは受診や治療を希望する住民が増え20件余増え、令和5年度は前年度から30件余り増えて島外への専門病院にて治療、検診及び受診を必要とする患者や付添人の全てに渡航費を助成することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	渡航費支援実施による離島苦の改善(渡航費支援を要望する人への支援率100%) 当初支援人数見込:264件	目標	()	(100%)	(100%)	(100%)	()
		実績		100%	100%	100%	
	【参考指標】 支援実施件数185件	目標	()	(—)	(—)	(—)	()
		実績		128件	153件	185件	
進捗状況説明	成果目標の件数は、令和4年度に続き、受診見込みの件数と付添人の件数は、中学生以下、認知症、障害がある者等、ひとりでの移動が困難な場合等を勘案し、見込み人数を計上した。令和5年度は新型コロナウイルス感染症対策等に伴い渡航を控えたため、大幅に減少したが、支援を希望する方全員へ支援を行うことができた。						

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	・制度対象者へは、診療所または申請窓口において、令和3年度は128件と大幅に減少した状況が続いてきたが、令和4年度・令和5年度からは受診や治療を希望する住民が20件～30件余増え島外への専門病院にて治療、検診及び受診を必要とする患者や付添人の全てに渡航費を助成することができた。例年どおり、診療所が「紹介状発行証明書」の発行を行い、保健センターへの提出という流れへと誘導することで例年同様、必要書類の案内及び手続方法をチラシ等で案内している。 ・渡航費用の助成に係る申請において必要書類等の不備や添付漏れ等は徐々に改善されているが、未だに高齢者等を中心に不備等がみられる。	引き続き趣旨の制度等をわかりやすく説明した上で、家族やその他支援者等の援助等を求めるなども引き続き対策等を講じていく。
今後の取り組み方針		
今後も村内診療所において、島外での専門治療及び加療が必要な患者の渡航費助成を行うことで、経済的な負担軽減により、診療治療が中断することなく、専門医療機関での継続治療を促し、健康増進に繋げる。 (1) 患者自身の判断で、専門治療渡航費の助成とならないように、適正運用に向け、書類の提出要件については今後とも同等としていく。 (2) 渡航費の不足など、経済的理由により受診が遅れないようにしつつ、安易な理由（検査）で受診することにならないよう、また、書類不備が生じないよう、対象者へ窓口での説明や保健センターだより等広報媒体における制度説明を引き続き実施していく。 (3) 書類不備を防ぐため、家族等に合わせて説明を行えるよう役場への同行等について協力を求めている。 (4) その他申請漏れ、添付書類等の不備による事務手続きを速やかに行うため、上記の「推進上の留意点」及び「改善余地の検証」を改めて認識した上で更なる円滑な事務処理に努めていく。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,115</td><td>3,704</td><td>2,962</td><td>742</td><td>411</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	4,115	3,704	2,962	742	411
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
4,115	3,704	2,962	742	411										
南大東村 3,704千円 補助金 3,704千円 村内住民 3,704円 ほか費用（渡航費及び宿泊費）の1割を利用者（患者）負担額として交付対象外経費とする。（令和5年度411千円） 南大東村内診療所での治療が難しいとする者、且つ専門的な治療を必要とする者で渡航費及び宿泊費の経済的負担を軽減することを目的に費用助成														
資金の流 使途の流 点検・費 目・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○事業目的に沿った申請受付・審査・決定・決定通知・振込は、適正に処理されている。 ○予算規模内容及び費用・目的は事業に見合った内容であり、事業目的に必要な不可欠な経費である。 ○費用の1割を利用者自己負担とし対象外経費としている。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	南大東村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	花いっぱいクリーン環境整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(10)-ウ	
担当部署名	産業課	事業実施(予定)年度	平成26年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	持続可能で質の高い離島観光の振興		
事業内容	観光地としての魅力向上を図るため、観光客が訪れる観光地や施設、観光地へのアクセス道路等の美化清掃を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	13,210	12,412	12,412	5,702	5,702
		(b)予算現額	12,063	13,230	9,517	5,702	3,275
		(c)増減額(b-a)	▲1,147	818	▲2,895	0	▲2,427
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	12,063	13,230	9,517	5,702	3,275
	B.執行済額		12,063	13,230	9,517	2,412	3,276
	うち交付金充当額		9,650	10,583	7,613	1,929	2,620
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	42.3%	100.0%
	予算の状況の説明		当初は5,702千円で予算を計上したが、美化清掃作業人員の減(委託先の変更により作業実施期間短縮)に伴い、委託料が▲2,426千円の実績減となった。				
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	観光地及び観光地へのアクセス道路の植栽・美化清掃(観光地 11箇所、アクセス道路 3箇所)	目 標	(12箇所)	(12箇所)	(14箇所)	(14箇所)	
		実 績	15箇所	12箇所	13箇所	14箇所	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	令和5年度の活動目標は、観光地11箇所、アクセス道路3箇所の14箇所において美化清掃を予定通りできた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	観光客を対象に、観光地としての魅力向上が図られたか(80%以上)を含め、アンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目 標	()	(満足度70%以上)	(満足度80%以上)	(満足度80%以上)	()
		実 績		満足65% 普通27% 不満8%	満足81% 普通15% 不満4%	満足85% 普通15% 不満0%	
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	令和5年度も、前年度に引き続き美化緑化されたアクセス道路が、観光地の目印にもなり、景観の向上に寄与した。更に、目的地にたどり着くまでの景観を楽しむことができる等の効果により、観光客の満足度は目標の80%以上を維持できた。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	観光地や観光地へのアクセス道路の美化清掃等は行っているが、委託先の「豊かな村づくり推進協議会」で雇用している作業員の殆どが60歳以上の高齢者であると共に年度途中で退職するなど、作業員の確保が難しくなっている。	作業員の確保が厳しい現状であるため、既存委託先の「豊かな村づくり推進協議会」の他、村内の清掃事業実績がある委託先選定の検討を行う。
今後の取り組み方針		
清掃作業等に伴う観光地及び観光地へのアクセス道路の景観と美化を維持していくため、事業継続が可能で清掃事業の実績がある委託先の選定の検討を行う。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
3,276	3,276	2,620	656	0

南大東村
3,276千円

委託料
3,276千円

南大東村豊かな村づくり
促進協議会
790千円

(有)金城重機土木
2,486千円

環境整備作業委託業務

(有)金城重機土木環境整備作業委託業務

資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○選定方法は、本事業は島のシルバー人材の活用を目的としており、高齢者を雇用にもつ「南大東村豊かな村づくり事業促進協議会」は随意契約で選定することが妥当であると考えていたが、急な人員不足のため(有)金城重機土木との委託先変更を行った。 ○予算規模については1名あたり、平均7千円/月×2名×12ヶ月は年間約3,360千円であり人件費の観点からも妥当である。○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南大東村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①	人材育成派遣事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ウ	
担当部署名	教育委員会	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	個性を伸ばし、自立に向けた資質・能力を伸ばす教育の推進		
事業内容	島内の児童生徒を対象に島外で開催される各種大会の派遣費を支援する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	5,857	7,250	7,251	7,189	7,225
		(b)予算現額	3,203	862	1,311	2,966	7,225
		(c)増減額(b-a)	▲2,654	▲6,388	▲5,940	▲4,223	0
		(d)繰越額	0	0	0	0	0
		A.計(b+d)	3,203	862	1,311	2,966	7,225
	B.執行済額		3,203	862	1,311	2,941	4,085
	うち交付金充当額		2,284	689	1,048	2,352	3,109
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	99.2%	56.5%
予算の状況の説明		当初は体育系9大会、文化系8大会で8,027千円で予算計上したが、新型コロナウイルス感染症対策等に伴い、体育会系6大会、文化計5大会のみ派遣となり、▲3,942千円の実績減となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	児童生徒の各種大会派遣に対する支援の実施	目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実績	実施	実施	実施	実施	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	令和5年度は体育会系10大会、文化系2大会のみの参加となったが、大会派遣に対する支援の実施ができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値(年度)	R3年度	R4年度	R5年度	目標値(年度)
	派遣された児童生徒が広い視野を持てたか(80%以上)を含め、保護者に対するアンケートにより本事業を検証した。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		100%	100%	100%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	令和5年度は、派遣補助を実施した各種大会へ参加した後、生徒達が派遣されたことにより広い視野が持てたかについて、保護者へアンケートを実施したところ、広い視野を持てたとの回答が100%であった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	各種大会へ派遣されたことにより、広い視野が持てたかについて、保護者へアンケートを実施したところ目標の80%を超え、100%であったことから本事業に対する趣旨と目的を理解していただいたと考える。	引き続き、大会参加の目標を100%として、日頃からの練習や、体調管理を徹底し、成果目標達成と生徒個人の成績の向上に努めていく。
今後の取り組み方針		
例年同様今後も各種大会へ派遣されることでそれらの意義を見つめ、意識改革を行いながら目標を持たせていく。又、経験した結果を見つめ直し今後の判断材料としてつなげて活かせるように努めさせる。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	交付対象外経費
			市町村負担金	
	4,085	3,887	3,109	778
				198
南大東村 3,887千円 補助金 3,887千円 南大東村小中学校 3,887千円 各大会等の派遣旅費として航空賃、宿泊費の補助 ほか 費用(航空運賃・宿泊費)の1割は自己負担額とし交付対象外経費としている (198千円)				
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・ 費目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○児童生徒・指導者の補助で妥当であった。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模内容及び費用・目的は事業に見合った内容であり、事業目的に必要な不可欠な経費である	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助金90%、個人負担10%とし保護者負担は妥当であった。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○実績報告書を確認しており事業目的に則した者であったと判断した。	

市町村名	南大東村						
令和5年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	7-①	南大東離島住民等交通コスト負担軽減事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(8)-ア		
担当部署名	総務課	事業実施 (予定)年度	令和5年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	人流・物流のコスト低減と情報 通信基盤の強化		
事業内容	南大東村の住民にとって生活路線として必要不可欠である那覇～南大東、及び北大東～南大東を結ぶ航空路の運賃が令和5年4月に値上げされることから、激変緩和措置として半年間限定で運賃低減を行い、急激な住民負担の増を抑制することで、定住条件の整備を図る。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 □委託 □補助 ■負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R5年度				
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	3,248				
		(b)予算現額	3,248				
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	0	0
		(d)繰越額	0				
		A.計(b+d)	3,248	0	0	0	0
	B.執行済額		2,717				
	うち交付金充当額		2,173				
	次年度繰越額		0				
	執行率(%) (B/A)		83.7%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		R4年度の搭乗客数実績を基に、R5年度上半期の予算を計上した為、多少の変動が生じ、執行率は83.7%となった。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R5活動目標(指標)		達成状況				
			R5年度				
	南大東村民等の交通コスト負担軽減の実施	目 標	(実施)	()	()	()	
		実 績	実施				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状 況 説 明	県事業(離島住民等交通コスト負担軽減事業)との共同により、値上げ分を村民へ転嫁することなく交通コスト負担軽減の実施ができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R5成果目標(指標)		基準値 (年度)	R5年度		目標値 (年度)	
	離島航空路線を維持するために、渡航運賃低減化を図り、負担軽減された離島住民の率	目 標	()	(100%)		()	
		実 績		100%			
	【参考指標】	目 標	()	()		()	
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	R5年度4月～10月の半年間に離島航路を利用したすべての村民について渡航運賃の低減が実施できた。					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	本県の離島は、我が国の領海及び排他的経済水域等の保全、海上交通の安全確保等に重要な役割を担っているが、一方、離島を結ぶ交通機関は飛行機又は船に頼らざるを得ず、陸上交通に比較して割高な運賃は人的・物的な移動の大きな障害となっている。離島住民に係る航路及び航空路の運賃を低減することにより、本県離島地域の定住条件を整備し、当該地域における活力向上につなげる。	本事業については、燃料価格高騰等の外部環境の変化に激変緩和措置として半年間限定で運賃低減を実施したものである。
今後の取り組み方針		
沖縄県内の離島を結ぶ交通機関は、航空機及び船舶に限られ、割高な運賃が移動の障害となっている。また、燃料価格高騰等さまざまな要因により離島の航空運賃の引き上げ運賃に対し負担額を交付することにより運賃の低減化を図る。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>5,434</td><td>2,717</td><td>2,173</td><td>544</td><td>2,717</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,434	2,717	2,173	544	2,717
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,434	2,717	2,173	544	2,717										
南大東村 2,717千円 負担金 2,717千円 琉球エアークommuter（株） 2,717千円 航空運賃値上げ分の負担 ほか 値上げ分の4割は県事業、3割は市町村事業（交付対象事業費 2,717千円）、3割は町村単費（交付対象外経費 2,717千円）で負														
資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○負担先である琉球エアークommuter（株）は島唯一の航空会社であり、妥当である。 ○予算規模は、前期実績に基づいた予算計上であり、適正な規模であった。 ○本村住民の航空運賃値上げの激変緩和措置の目的に即しており、受益者との負担関係は妥当である。 ○費目、使途については、実績報告、額の確定時において書類等により確認しており、適正である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												